



## 久遠塾

君の世界に芽生えるものは  
vol. 20



かたおか あすか  
片岡 明日香

リレーのバトンを渡すというのは、次の人にすべてを託すという感じがする。そうではなくて、私は縄跳びをするイメージで仕事をしている。

縄を跳ぶ人がいて、縄を回す人がいる。跳ぶのが得意な人は端に立って、苦手な人は真ん中に立つ。跳ぶよりも縄を回す方が、力を発揮できる人もいる。跳び始めた最初の人もいれば、あとから加わる人もいる。そして、先に跳んでいた人が抜けていく場合もある。こうやってみんなで縄跳びをして、次に繋げていく。

「バトンタッチ」ではなく  
「縄跳び」の気持ちで。

先日、とある方とお会いしたときに聞いたお話です。

確かに「バトンタッチ」は、自分はその場で走るのを終える、という事になってしまう気がしました。「あとは任せたい！」というふうな。「縄跳び」も、最終的には新しく加わった人に任せるのなら、同じと言えばそうなのですが、その前に「みんな一緒」という、時間の共有があるのが、何だかすてきだなと感じました。

学校も「縄跳び」がずっと続いている状態なのだと思います。先輩と後輩が一緒に時間を過ごし、卒業する人たちがいて、入学する人たちがいて、それが繰り返されて。

今の白糠高校生のメンバーが、一緒に時間を共有できるのは、本当にあとわずかです。

そんな中、白糠高校の12月の全校集会で、3年生へのサプライズがありました。生徒会が中心となって、1・2年生と先生方（我々スタッフも）が登場する動画や、異動された先生方からのメッセージを集めた動画を作成してくれて

いたのです。後輩たちからの、心のこもった贈り物でした。きっとこれまで3年生が、精いっぱい学習に励んだり、行事や部活動をより良いものにしようと奮闘したりしてきたからこそその贈り物なのだろうと思います。そんな3年生の背中を見て、1・2年生は、どんなふうになんか加わる人たちを迎えて、どんなふうに関わりを共有していくのかなど、楽しみながら受け継いでいくことができます。先輩たちが受け継いできたものや創り上げたものを守っていくことは大切です。ただそれだけではなく、後輩たちが新たな挑戦をすることがあっても、もちろんいいのです。

もうすぐ卒業する3年生も、高校で考えれば縄跳びを抜ける立場けれど、学生・社会人で考えれば新しく縄跳びに加わる立場です。それぞれの場所で、それぞれの立場で、それぞれの仲間との縄跳びが、すてきなものになりますように！

### 2月のゼミ（会場／公民館3階）

#### ●しらゼミ（高校生限定）絵本をつくろう！

2月3日（水） 18:15～19:15

#### ●白糠の高校生

クオンジユクのセイトさん（全町民対象）

2月22日（月） 18:00～19:15 ※15分拡大

久遠塾に通っている白糠高校の3年生がお話をする側になります。ぜひ多くの町民の方に聞きに来ていただければと思います！

くおんじゅく

久遠塾 ☎ 080-2182-1379 13:00～21:00

メールアドレス shiranuka.kuon@gmail.com

ブログ <https://kuon-jukulocalinfojp.amebaownd.com>



1月7日に実施した美文字講座。午前の部の1コマです。